

法人本部

企画課管理用 管 — D — 2

推進主体	施設部施設課
責任者	施設部長

分類	実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
管 — D	多様性を尊重した環境整備の検討と推進	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容

本計画は、本院内の施設設備を使用するにあたって、使用者が、年齢・性別・国籍・身体的特徴・生活環境・価値観・嗜好等の違いによって、使いづらさが無いように整備(解消)していくことを目的とする。

それにあたっては、本計画が、「ダイバーシティの理解と推進」という計画の柱に基づいていることから、従事する我々職員が、社会の多様性を学び、それぞれにとって使い易く、学習や研究に相応しい環境整備とはどのようなものかを調査研究(ニーズ調査、現場調査、先行事例調査等)し、その上で本院における整備方針を策定するところから始める(2年間)。整備方針が確定したらそれに基づいて、実施計画を作成し、予算化へとつなげ、工事期間は3年計画として実施する。また、本計画期間が終了した後は、定期的に(約5年間ごとに)整備の状況を点検し、追加の対策等を講じるものとする。

調査によって明らかになった実態や整備方針案は、出来るだけ院内構成員に披露し、内容の確認を経ながら予算確保に努め、実現数を増やしたいと考える。なお、本計画はNo.17の「学びの空間の快適化プロジェクト」とも領域が重なることから、方針策定段階で、計画範囲の区分の明確化を図りたい。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

令和4~5年度については、定性目標として、予定計画の実行までを目標とする。
令和6~9年度は、実施計画に対しての完遂率とする。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定		← 検討期間(調査、現場確認、計画概要案の作成、方針策定、予算規模の算出)					
			← サイン更新計画				
				← 更衣スペース増設 計画期間(実施計画、予算要求)			
					← 実施期間(計画実施、次年度予算要求、検証)		

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	<p>現場調査、ニーズ調査、先行事例調査、整備方針及び計画概要素案の作成。</p> <p>【4月～8月】 ダイバーシティ、バリアフリー、ジェンダーレス、ジェンダーフリーの各視点から、各学校施設における現状の課題を抽出する。</p> <p>【9月～12月】 各学校施設の構成員のニーズ、対象設備の優先度等を把握する。</p> <p>【4月～12月】 既に整備の進んでいる諸施設の事例を調査して、本院での導入の参考情報とする。</p> <p>【1月～3月】 得られた調査情報を基に、整備方針及び計画概要の素案を作成する。</p>	<p>・各学校に対して、本課題に対するヒアリングを実施し、取りまとめを行った。このヒアリング結果は、方針や実施の優先順位を決定していくために使用する。先行事例の情報収集においては、特に実施日を設けるということはずせず、現場に赴いた際の都度の実施とした。当面の間はこの方法を継続的に行う。また、各学校の実態について、数量的な把握を含め、今年度末までにデータ化を完了させる予定。</p> <p>・本計画の中で、施設営繕工事と絡めて実施することになった大学キャンパスのサイン更新計画については、令和5年度工事で実施すべく、設置方針及び更新概要の策定まで進んでいる。大学部門へは概要説明を実施済みで、年度内に設計図書の完成を目指す。 ※令和4年度の進捗を踏まえて③ロードマップを更新した。</p>
令和5年度 (2023年度)	<p>・全体的には、方針策定に必要な情報が収集されつつあるので、年度後期には方針原案をまとめる。</p> <p>・サイン計画については、製作物の見積合せ、工事発注、施工を進捗確認する。</p>	<p>・大学学生センターからの要望について回答を作成し、要望の内「LGBTの学生のための更衣室・更衣スペースの増設」の実施の為計画を行った。</p> <p>・サイン計画については令和5年夏に実施済み。</p>
令和6年度 (2024年度)	<p>・「LGBTの学生のための更衣室・更衣スペースの増設」に向けて多目的トイレへの着替え台設置見積徴収、予算要求を行う。実施方針原案をまとめる。</p> <p>・他大学動向調査を引き続き行い、新たな課題抽出を行う。</p> <p>・大学構内の点字ブロック敷設計画を立案し、障がい学生支援委員会に提出する。</p>	<p>・多目的トイレへの着替え台設置の予算要求を行った。実施は令和7年度を予定。</p> <p>・大学構内の点字ブロック敷設計画を障がい学生支援委員会へ提出。今後は大学の予算要求に基づき、施設営繕の中で検討を継続していく。</p>
令和7年度 (2025年度)	<p>・「LGBTの学生のための更衣室・更衣スペースの増設」に向けて多目的トイレへの着替え台設置を実施する。</p> <p>・他大学動向調査を引き続き行い、新たな課題抽出を行う。</p>	<p>・西2号館、中央教育研究棟多目的トイレへ着替え台を設置。</p> <p>・当初のヒアリングで要望の上がっていた「中高等科校舎保健室への多目的トイレ設置」を中高等科校舎トイレ更新工事内で実施。</p> <p>・戸山キャンパス・四谷キャンパス内のトイレ仕様を調査し、多様性に配慮したトイレ標準仕様書の検討作業を実施。</p>
令和8年度 (2026年度)	<p>・他大学トイレ改修事例等を調査し、取り込める事例を確認する。</p> <p>・戸山キャンパス、四谷キャンパスのトイレ仕様を図面・現地の両面から確認し、仕様表を作成する。</p> <p>・他大学動向調査を引き続き行い、新たな課題抽出を行う。</p>	